

米軍基地環境カルテ

奥間レスト・センター（施設番号：FAC6004）

沖 縄 県

改訂履歴

版数	発行年月	改訂内容
第1版	平成29年3月	初版発行
第2版	令和4年3月	「沖縄の米軍基地（平成30年12月沖縄県）」の内容を反映させた改訂。

目次

3. 奥間レスト・センター（施設番号：FAC6004）	1
3.1 基本情報	1
3.1.1 名称	1
3.1.2 所在地、広さ（施設面積）	1
3.1.3 施設の概要等	2
3.1.4 施設の管理及び用途	3
3.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	3
3.1.6 土地利用規制図	3
3.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	3
3.2.1 基地等の土地の状況	3
3.2.1.1 地形分類図	3
3.2.1.2 表層地質図	3
3.2.1.3 土壌図	3
3.2.1.4 切盛土分布図	3
3.2.2 基地内の施設の使用状況	3
3.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	3
3.2.2.2 施設等使用履歴	3
3.3 基地等の環境状況	4
3.3.1 自然環境（植物）	4
3.3.1.1 現存植生図	4
3.3.1.2 植生自然度図	4
3.3.1.3 特定植物群落	4
3.3.1.4 重要な種、貴重な種等	4
3.3.2 自然環境（動物）	5
3.3.2.1 重要な種、貴重な種等	5
3.3.3 水利用状況	5
3.3.3.1 水利用状況	5
3.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	6
3.3.3.3 河川及びダムの分布状況	7
3.3.4 地下水の状況	8
3.3.4.1 地下水基盤面等高線図	8
3.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	8
3.4.1 事故等の概要	8
3.4.2 事故等発生場所	8
3.5 環境調査を実施する場合の留意事項	8
3.6 その他情報	8

3.7 環境等に関する通常監視について	9
---------------------------	---

3. 奥間レスト・センター（施設番号：FAC6004）

3.1 基本情報

3.1.1 名称

奥間レスト・センター（施設番号：FAC6004）

3.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和47年5月15日>

所在地：国頭村字辺土名、字桃原、字奥間、字鏡地

広 さ：約489,700 m²

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15メモ等）（仮訳）」（1972年5月）

（http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf）を参照

<平成30年12月現在>

所在地：国頭村（字辺土名、字奥間、字桃原、字鏡地）

広 さ：546 千m²

地主数：526 名

駐留軍従業員数：86 人

出典：「沖縄の米軍基地」（平成30年12月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

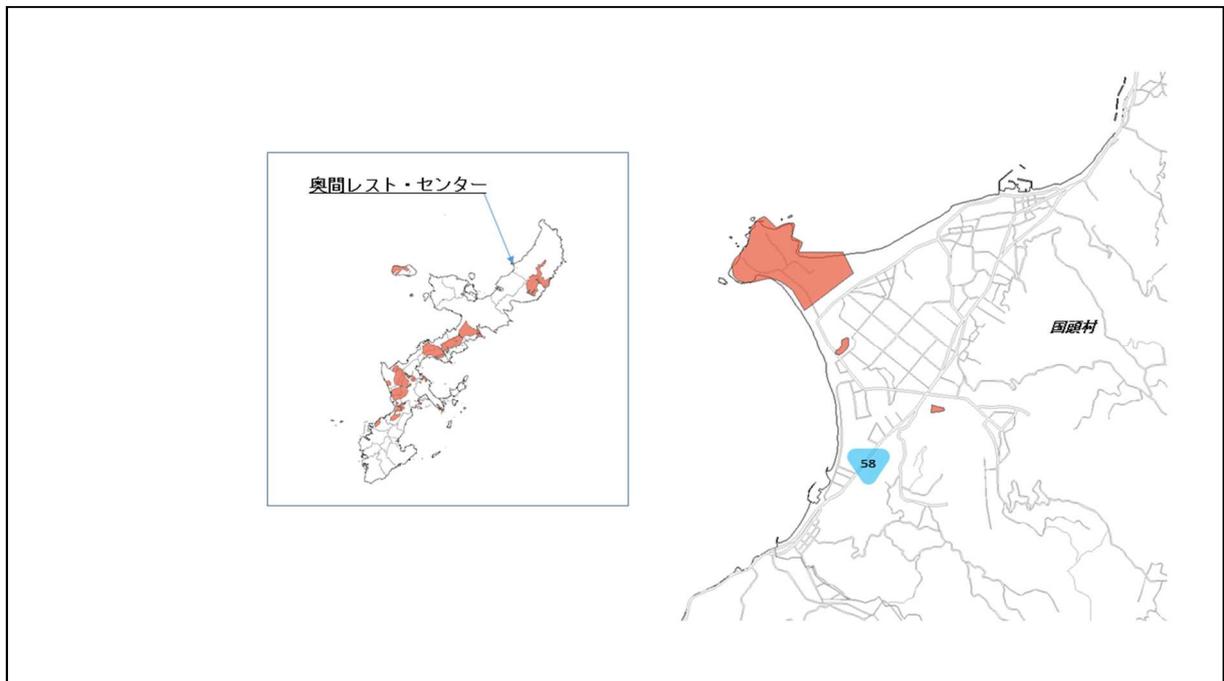


図 3-1 奥間レスト・センターの位置図（平成28年時）

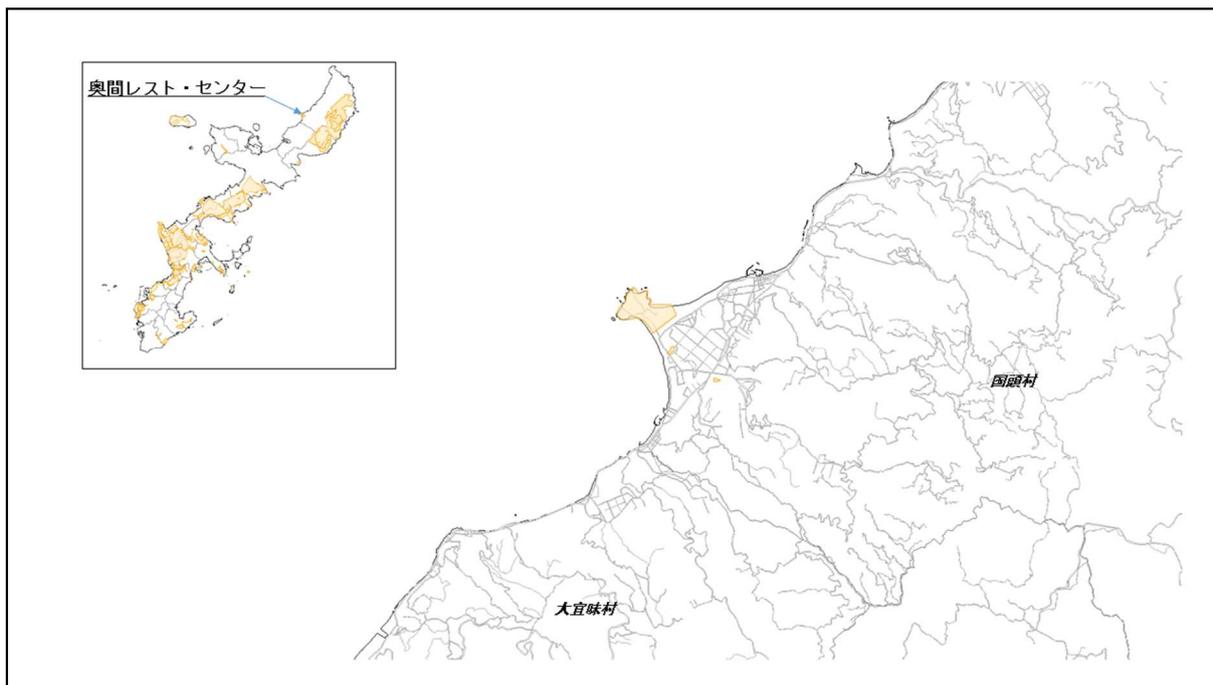


図 3-2 奥間レスト・センターの位置図（昭和 47 年時）



出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

図 3-3 奥間レスト・センターの航空写真

3.1.3 施設の概要等

奥間レスト・センターは、空軍の管理下に米軍人、軍属及びその家族の福利厚生施設として使用されている。施設内には、レストハウス、海水浴場、ゴルフ場、キャンプ場、保養施設等があり、施設周囲の海辺は海水浴場、魚釣り場、ボート乗り場として使用されているほか、現在使用されていない軽飛行機用の滑走路がある。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

3.1.4 施設の管理及び用途

管理部隊名：第18航空団第18任務支援群司令部

使用部隊名：各軍（軍人・軍属・家族）

使用主目的：厚生施設及び管理事務所

出典：「沖縄の米軍基地」（平成30年12月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

3.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

<返還計画>

なし。

<跡地利用計画>

奥間レスト・センターの南側にあったV.O.A施設が復帰前に返還され、現在リゾート施設として利用されている。

国頭村は、昭和61年に軍転協を通して奥間レスト・センターの全面返還を要望した。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成30年12月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

3.1.6 土地利用規制図

奥間レスト・センター及び周辺の土地利用規制図を図面集「[土地利用規制図A](#)」に示す。

3.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

3.2.1 基地等の土地の状況

3.2.1.1 地形分類図

奥間レスト・センター及び周辺の地形分類図を図面集「[地形分類図A](#)」に示す。

3.2.1.2 表層地質図

奥間レスト・センター及び周辺の表層地質図を図面集「[表層地質図A](#)」に示す。

3.2.1.3 土壌図

奥間レスト・センター及び周辺の土壌図を図面集「[土壌図A](#)」に示す。

3.2.1.4 切盛土分布図

奥間レスト・センターの切盛土分布図は作成されていない。

3.2.2 基地内の施設の使用状況

3.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

奥間レスト・センターの施設配置図は確認できなかった。

3.2.2.2 施設等使用履歴

昭和22年8月1日 「奥間レスト・センター」として使用開始。

昭和47年5月15日 「奥間レスト・センター」として提供開始（使用主目的：厚生施設及

	び管理事務所)。
昭和 52 年 9 月 30 日	施設管理権が米陸軍から空軍へ移管。
昭和 53 年 3 月 31 日	浄水場用地等として、約 12,250 m ² (昭和 52 年 5 月 5 日返還の V. O. A 施設の給水管用地部分) を追加提供。
昭和 60 年 3 月 20 日	住宅用地約 600 m ² を返還。
昭和 61 年 4 月 3 日	水道施設として、工作物 (水道管) を追加提供。
昭和 62 年 6 月 30 日	村道施設用地約 12,000 m ² (主に浄水場用地) を返還。
昭和 62 年 12 月 11 日	污水处理施設等として、工作物 (給水管等) を追加提供。
平成 3 年 5 月 31 日	国道 58 号改良用地約 60 m ² を返還。
平成 15 年 8 月 28 日	防災施設として、工作物 (圍障等) を追加提供。
平成 16 年 8 月 26 日	隊舎として、建物約 1,300 m ² と工作物 (水道等) を追加提供。
平成 21 年 11 月 13 日	防災施設として、工作物 (門等) を追加提供。

出典：「沖縄の米軍基地」(平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課) を参照

<主要建物及び工作物>

建 物：食堂、宿泊施設、販売所、哨所、倉庫、機械棟、下士官宿舎ほか

工作物：駐車場、貯槽、運動場、テニスコート、ゴルフ場、キャンプ施設、保安柵、上下水道、滑走路、岸壁、護岸ほか

出典：「沖縄の米軍基地」(平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課) より引用

3.3 基地等の環境状況

3.3.1 自然環境 (植物)

3.3.1.1 現存植生図

奥間レスト・センター及び周辺の現存植生図を図面集「[現存植生図A](#)」に示す。

3.3.1.2 植生自然度図

奥間レスト・センター及び周辺の植生自然度図を図面集「[植生自然度図A](#)」に示す。

3.3.1.3 特定植物群落

奥間レスト・センター及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局生物多様性センター) を参照

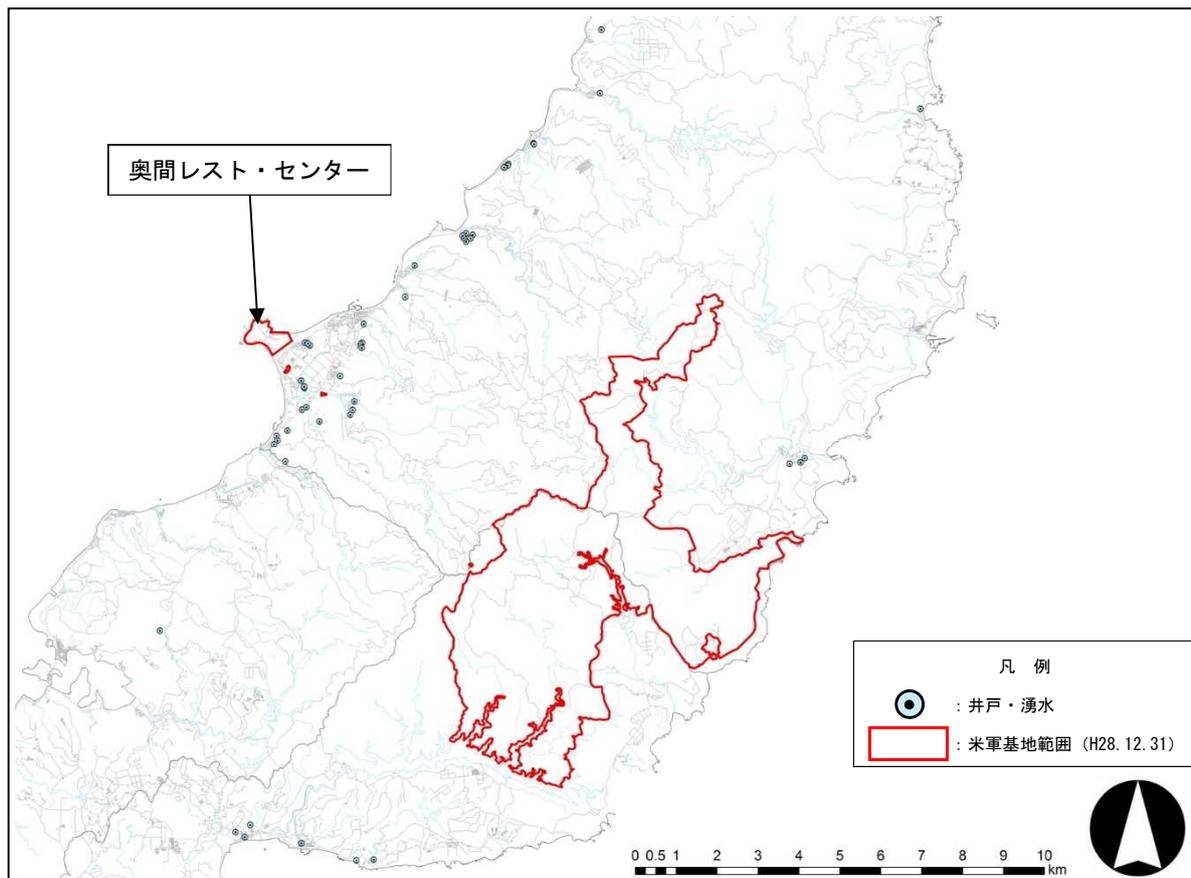
3.3.1.4 重要な種、貴重な種等

奥間レスト・センター及び周辺の重要な種、貴重な種等 (植物) は確認できなかった。

出典：「～平成 27 年度版～文化財課要覧」(2015、沖縄県教育庁文化財課) を参照

3.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

奥間レスト・センター及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 3-5 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平成 29 情使、第 269 号)」

注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 3-5 奥間レスト・センター及び周辺の井戸・湧水分布状況

3.3.3.3 河川及びダム分布状況

奥間レスト・センター及び周辺の河川、ダム分布状況及びその概要を図 3-6、表 3-1 に示す。奥間レスト・センター及び周辺には、二級河川が 2 本ある。

なお、周辺に国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」

出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、「沖縄防衛局管内防衛施設図（米軍基地範囲）」（平成 28 年 12 月 31 日現在、沖縄防衛局）を参照

図 3-6 奥間レスト・センター及び周辺の河川、ダム分布状況

表 3-1 奥間レスト・センター及び周辺の二級河川の概要

比地川水系	比地川	指定延長：7,650m	流域面積：18.81km ²
指定区間：（左岸）国頭村字比地以下海に至る （右岸）国頭村字比地以下海に至る			
比地川水系	奥間川	指定延長：5,000m	流域面積：6.75km ²
指定区間：（左岸）国頭村字奥間以下比地川合流点まで （右岸）国頭村字奥間以下比地川合流点まで			

出典：沖縄県ホームページ「沖縄の河川資料室」

(<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kasen/kanri/okinawanokasensiryousitu.html>、平成 28 年 8 月 23 日閲覧) を参照

3.3.4 地下水の状況

3.3.4.1 地下水基盤面等高線図

奥間レスト・センター及び周辺の地下水基盤面等高線図は作成されていない。

3.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

3.4.1 事故等の概要

奥間レスト・センター及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の概要を表 3-2 に示す。奥間レスト・センターでは、台風で防波堤が決壊したことにより、海水が浸入、施設の排水と相まって隣接農耕地へ流出し、農作物に被害を与えた事故が確認された。

表 3-2 奥間レスト・センター及び周辺における環境関連事故等の概要

発生年月日	発生場所	概要	備考
昭和 51 年 9 月 9 日	国頭村（桃原、辺土名）	台風 17 号によって同施設の老朽化した防波堤が決壊し、海水が侵入、それが施設の排水と相まって、隣接農耕地へ流出し、冠水、農作物に被害を与えた。	冠水被害

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）を参照

3.4.2 事故等発生場所

奥間レスト・センター及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

3.5 環境調査を実施する場合の留意事項

奥間レスト・センターにおいて、基地内施設の使用状況及び配置等の基礎的な情報が詳細に把握できていないことから、当該施設の使用状況を踏まえて、環境調査の際には下記の事項に留意する。

- 1 この施設は福利厚生施設であるため、有害化学物質等の汚染は少ないと考えられるが、燃料補給所、汚水処理施設が存在することから、汚泥、施設周辺の土壌、水質について調査を行う。

<備考>

- 1 民間のリゾート施設と隣接することから突発事故の対策や自然景観について十分配慮が必要である。

3.6 その他情報

特になし。

3.7 環境等に関する通常監視について

在沖米軍施設・区域に起因する環境汚染を防止するため、沖縄県では基地排水等の監視、事故時の調査を実施し、水質汚濁の状況把握に努めている。

奥間レスト・センターにおけるこれまでの調査で、基準に適合しなかった結果の概要を表 3-3 に示す。

表 3-3 米軍基地排水調査における基準不適合結果の概要

調査地点名	調査年月日	項目	値	基準
下水処理施設	平成 24 年 12 月 11 日	大腸菌群数	1.2×10^3 個/cm ³	排水基準

◆ 一律排水基準

大腸菌群数（日間平均 3,000 個/cm³）

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、

「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、

「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照